



鈴鹿市議会 だより

■発行/鈴鹿市議会 ■編集/鈴鹿市議会広報広聴委員会

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL.059-382-7600 <http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai>



H21年1月11日 成人式
(県営鈴鹿スポーツガーデン)



H21年1月10日 出初式
(三重県消防学校)

12月定例会のあらまし

12月定例会は、11月25日から12月19日までの25日間の日程で開催されました。本定例会では、平成20年度鈴鹿市一般会計補正予算(第2号)についてなど議案9件が市長から提出され、議案質疑、各委員会での審査の後、討論及び、採決の結果それぞれ原案のとおり可決されました。また議員提案による、「地域医療と介護の充実を求める意見書」の発議案が19日の本会議で提出され、原案のとおり可決されました。なお、意見書については関係機関へ送付し、その実現について要望しました。(議決一覧については10ページに記載)

主な内容

- 平成20年度議会からの提言……2P
- 委員会活動状況……………2P
- 一般質問……………3～9P
- 議会の動き……………9～10P
- 12月定例会議決一覧……………10P
- 3月の会議日程……………10P

議員からの寄付は禁止されています

議員(候補者を含む)が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会等の行事に、寄付や差し入れなどをしたり、祝い金(出産・新築等)や贈り物をすることは、公職選挙法等により罰則をもって禁止されています。また、要求した人や受け取った人も同様に罰せられます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成20年度議会からの提言

平成20年度、総務・文教福祉・生活産業・建設水道常任委員会では、所管事務について調査研究し、その結果を次年度以降の施策に反映されるよう1月15日(木)に市長に申し入れました。[報告の抜粋は以下のとおりです。]

総務委員会

入札制度について/電子入札は、費用対効果を検証しつつ慎重に導入すること。

人事評価について/人材育成につながる様々な手法を検証し見出すこと。評価する側の研修を十分行い、統一性のある基準によって評価すること。

庁舎管理について/西庁舎玄関の障がい者用駐車場に屋根の設置を。職員のエレベーター利用はルールを守ること。庁舎の管理・清掃は効率的に。

生活産業委員会

地球温暖化対策について/地球温暖化対策の啓発の促進。剪定樹木等の堆肥化の検討や街路灯に発光ダイオードの利用促進を図るなど独自の施策の展開を。

産業の活性化と観光振興について・第一次産業について一担い手サポート制度の検討や、鈴鹿ブランドのPRの促進を。
・観光産業についてF1開催継続の要請や、道路整備と交通手段の調整を。F1開催に伴う地元の問題は、現状把握と問題解決につとめること。各種イベントの協賛には実行委員会と協議し市としての主体性を発揮すること。

建設水道委員会

都市基盤整備施策について/下水道の使用料等受益者負担は、経営の健全化を進め、適正な受益者負担となるようにすること。公園整備等は必要な機能を的確に検討し、周辺市民や市民のニーズを反映したものとすること。都市計画道路等については、事業供用の早期化を促進すること。

文教福祉委員会

「救急医療」・「応急診療」について/来院する前に、専門的な知識を有する者が対応する電話相談等窓口について検討すること。既存の県電話相談ダイヤル等の紹介の啓発に努め、市民が安心して医療が受けられる行動マニュアル等も検討を。全庁的な体制で、健康づくり施設全体の取り組みとして、推進すること。市民レベルでの「健康づくり」に関するさまざまな活動に対し補助する等、市民の意識啓発、向上へのサポート体制を充実すること。医師会・歯科医師会等、関係機関との連携を更に深め、近隣市町との協力体制のビジョンを明らかにすること。



委員会活動状況

議会運営委員会・地震防災特別委員会・議会改革特別委員会等各委員会では、それぞれ所管の調査事項についての調査研究や行政視察をしました。

議会運営委員会

11月12日(水)～13日(木)

北九州市議会及び広島県三原市議会における予算・決算の審査についてを視察。



北九州市

地震防災特別委員会

11月10日(月)～11日(火)

消防庁舎について、宮城県登米市の消防防災センターと自主防災活動などについて仙台市を視察。



登米市

議会改革特別委員会

10月30日(木)～31日(金)

大分市議会における議員政策研究会について及び山口県周南市議会の委員会懇談会についてを視察。

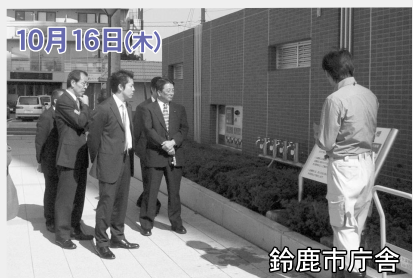


大分市

総務委員会

10月16日(木)

庁舎管理についての調査・研究のため、市役所施設の視察。



鈴鹿市庁舎

文教福祉委員会

10月17日(金)

鈴鹿市における応急診療の調査・研究のため、鈴鹿市応急診療所を視察。

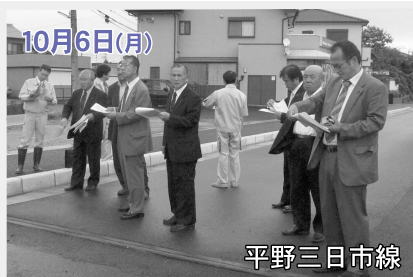


鈴鹿市応急診療所

建設水道委員会

10月6日(月)

道路等の事業早期推進のために、都市計画道路平野三日市線の現地を視察。



平野三日市線

市政研究会 水谷 進 議員



- 1 教育委員会でのプロポーザル方式
(1) 過去2度について検証はしたのか
(2) 今後の方針は協議されているのか
- 2 自治会について
(1) 行政と自治会の関係について
(2) 行政懇談会の在り方について

質問1(1) 現在の採点方式では、大手企業が優位になると共に、課題に対する1番良い提案が採用されない恐れがあるのではないかと。

答弁1(1) 過去2件については特段の問題も無かったと考える。しかし、進め方については改善点もある事から実施要綱などの見直しを検討していきたい。

質問1(2) 平田野中学校については、いつまでにどの

ような議論がされるのか。

答弁1(2) 今回の見直しを踏まえ、更なる透明性、公平公正な業者選定の在り方を本年度内に決定する。

質問2(1) 新しい「すずか」をつくるためには、行政と自治会の関係をどのように考えるか。

答弁2(1) 行政と自治会はお互いが協働し、健全なまちづくりを進めるためのパートナーとして、今後も支え合う姿勢が求められていると認識している。

質問2(2) 懇談会の有意義な機会を鈴鹿市の現状や課題等も話し合えるようお願いをすることはどうか。

答弁2(2) 行政懇談会の主催は自治会連合会である。協働によるまちづくりに取り組むなかで、行政と自治会お互いが役割を担っていくために、行政懇談会を更に充実して頂き活用させて頂きたい。

すずか倶楽部 後藤 光雄 議員



- 1 近鉄白子駅の名称について
- 2 NTT西日本研修センタ跡地土地利用転換計画の推進について

質問1(1) 鈴鹿市をシティセールスしていくうえで白子駅の名称をどのように考えているか。

答弁1(1) 白子駅の名称については行政主導ではなく白子周辺の皆様のご理解と市民の合意形成が肝要と考え、動向を見守っていきたい。

質問2(1) H16年に発表された跡地土地利用転換計画策定事業概要から今日までの動きは。

答弁2(1) 市が整備する防災型公園は、事業計画の検討に入っており、新産業支援ゾーンはものづくり支援センターの設置について検討している。NTTが担当す

る健康福祉ゾーンは4つのエリアに分け企業の進出意向の把握に取組中。

質問2(2) 跡地に残る第一鈴鹿海軍航空基地の遺跡群を、二度と戦争をしない心を持ち続ける為に文化財として保存できないか。



戦争遺跡(二畑町)

答弁2(2) 鈴鹿に残る戦争遺跡の中でどれを文化財指定して保存すべきかを文化財調査会に審議依頼中である。

質問2(3) 残された施設の再利用を考え、全体が地域防災拠点となる総合防災公園兼運動公園として、利用転換計画を推進できないか。

答弁2(3) 変更は考えられない。

市政研究会 中村 浩 議員



- 1 定額給付金について
- 2 公民館等の市民サービスについて
パート8
- 3 Cバスについてパート8

質問1 市としては、どのような対応をするのか。

答弁1 国の動向を見守り、県内他市と足並みをそろえたい。

質問2 長太公民館で住民票の写しが発行できるよう地元から要望が出ているが、その対応は。証明書自動交付機を設置できないか。

答弁2 証明書等の交付サービスは、地元市民センターでのサービスを基本と考えている。証明書交付機は、設

置にあたり高額な負担を必要とする事から当面は現状で理解いただきたい。しかし、検討については今後も行う。

質問3 前回の答弁で他の地域の問題点等、今後の公共交通網をどのように維持・補完していくかを調査する時期に来ていると答弁があったが、具体的にはどのような方策を考えているのか。

答弁3 現時点では、交通課題やニーズを把握・分析するためのヒアリング調査やアンケート調査の実施が想定されるのではないかと考えている。



Cバス

あくていぶ21 森 喜代造 議員



- 1 図書館の対応について
(1)本の貸出し状況について
(2)駐車場について
- 2 学校の安全対策について
(1)安全対策の取り組みについて
(2)防犯対策について

質問1(1) 移動図書館が廃止されてから、図書館での本の貸出しは増えているのか。

答弁1(1) 全体として増えている。公民館でも貸出ししており、外国人の方へも対応している。

質問1(2) 駐車場の対策はどのようにしているのか。

答弁1(2) 休日に満車になった場合は、文化会館の第2、第3駐車場を案内している。

質問2(1) 転落防止対策や危険箇所への把握はしているのか。

答弁2(1) 児童の転落事故の未然防止と安全管理や安全指導の徹底について指示しており、安全性を備えた教育環境を整えるために、安全点検の充実に努めていきたい。

質問2(2) 不審者対策と今後の防犯の取り組みについて

答弁2(2) ハード面では校内に通報装置を導入した。ソフト面では学級活動や道徳の時間に「自分の命は自分で守る」という力を育み、民間の※1「CAPプログラム」を取り入れたり、安全安心マップづくりにも取り組んでいる。今後とも地域ぐるみで子どもを守り、より安全で安心な環境づくりに努めたい。 ※1 アメリカで開発された、子どもへの暴力防止プログラム

公明党 池上 茂樹 議員



- 1 新型インフルエンザ対策について
- 2 テレビ広報すずかについて
- 3 市営住宅の住民からの要望について

質問1(1) 本市の新型インフルエンザ対応行動計画の策定は。治療薬「タミフル」の備蓄の現状は。

答弁1(1) 今後、県と連携し鈴鹿市行動計画マニュアル作成を検討していく。「タミフル」の備蓄も検討する。

質問1(2) 市民への正確な情報提供は。

答弁1(2) 鈴鹿市のホームページを含め今後考える。

質問1(3) 新型インフルエンザ対策費の別枠での予算計上をするべきと思うが。

答弁1(3) 予算的措置を含めた議論をしていく。

質問1(4) 消防の取り組みは。

答弁1(4) 国・県の通知を待って考える。

質問2 テレビ情報のバリアフリー化をはかるため、手話を挿入できないか。

答弁2 今後、手話や字幕を入れた障がいのある方に配慮した番組づくりに努める。

質問3 高齢者や障がいのある方・集会所等の要望は。

答弁3 団地内のバリアフリー化の整備を計画的に行っている。共用階段の手すりについては、すべて完了した。集会所への空調設備は早期にする。



政友会 大杉 吉包 議員



- 1 地域活性化の取り組みについて
- 2 平田野中学建設について

質問1 地域の活性化のために、まず、企業誘致を進めるべき。市としての企業誘致に対する考え方は。また公的工業団地の整備を早急に行うべきであり、整備計画はどうか。また土地区画整理事業の補助制度と市街化区域への編入についてはどうか。

答弁1 企業誘致について、先端企業等を新たに誘致することは雇用の創出や税収の確保をはかるうえで重要な施策であり、トップセールスも実施し積極的にすすめる。公的工業団地については当面は見合わせ、民間の開発地に企業誘致を行い喫緊の需要にも対応で

きるような体制を整えていきたい。国府地区内の新土地需要ゾーンでの土地区画整理事業への補助は難しい。市街化区域編入については、工業系に限り条件が整えば可能性がある。

質問2 基本設計に向けて、現在の進捗状況はどうか。どのように通学路を決定・整備していくのか。また整備上、周辺の遺跡からどのようなものが出土し、範囲確認調査のタイムスケジュールは。

答弁2 業者選定の方法を今年度中に決めて、来年度早期には基本設計業務に着手し、その次の年度に実施設計、H25年度に完成予定である。通学路は概要を本年度中に提示。学校敷地内の遺跡調査については、範囲確認調査を来年度基本設計と併行して実施。H23年度の着工までには間に合うよう努力する。

すずか倶楽部 中西 大輔 議員



- 1 地域公共交通と地域活性化について
- 2 産業支援策について
- 3 鈴鹿市における地域とは

質問1 既存の道路を活かした公共交通網を整備し、各公民館や駅等をつなぐことにより、地域間交流を促進し、高齢者等の交通弱者にやさしい地域公共交通網を整備できないか。モデルとして長太公民館周辺から白子駅に至るコミュニティバスを提案する。

答弁1 現在、市東部のコミュニティバス導入は考えていないが、各地域における基礎的な情報収集に努め、地域公共交通の問題点の整理を行い、市内全体の交通課題や公共交通網整備の方向性を検討したい。

質問2 世界的な経済不況の影響で、本市の中小企

業等にも大きな影響があると思われる。特に生産調整等により仕事がない状況に対し、地域内産業の仕事創出という面での産業政策を考えているのか。

答弁2 ハイブリッド車等新世代自動車などの、技術革新に対応できるよう、技術の高度化を確立すべく、産学官研究開発支援研究開発補助に係る支援や、高等教育機関から中小企業への研究成果の発信や技術移転等に対し、今まで以上に注力したい。

質問3 市の各施策において想定されている「地域」について、その位置付けや捉え方に一貫したものがないが、コーディネートする部署が必要ではないか。

答弁3 「地域」の捉え方については各担当にて考えるが、横の連携を緊密にしていきたい。

あくていぶ21 森田 治已 議員



- 1 消防力の充実強化について
 - (1) 消防庁舎の建設について
 - (2) 消防職員体制充実について
 - (3) 災害時の他市との応援体制は
 - (4) 消防団と自主防災の連携について

質問1(1) 安全安心なまちをめざし、「拠点整備を含む消防力の強化」がうたわれる中、庁舎建設の全体像が見えない。20万都市にふさわしい規模や完成時期等の考えは。

答弁1(1) 基本構想として敷地面積は8,800m²で、災害対策本部のサブ機能を備えたもの、災害に耐えるもの、24時間体制に対応でき、女性職員の採用に対応できるものを考えている。H21年度までに実施設計を

策定し早期に完成をめざす。

質問1(2) 消防職員数は1,000人に1人がふさわしいが当市では現在186人。増員の見込みはあるのか。

答弁1(2) 来年の増員は3人になる予定。

質問1(3) 他市との消防活動の協定や、大規模災害時の応援体制の概要は。

答弁1(3) 隣接応援は、消火活動も災害時も消防組織法の下締結されているが実情に合った内容に変更していくように検討していく。

質問1(4) 地元の消防団や自主防災隊とが協力をしていける活動環境の整備が必要と思うが、どの様に連携・整備を考えているのか。

答弁1(4) 消防分団ごとに指導を強化し、3ヵ年で参加人員も倍増し訓練内容も変え連携強化に努める。

市政研究会 大西 克美 議員



- 1 住基ネットサービスの利用について
- 2 中小企業への緊急支援対策について
- 3 災害要援護者台帳について

質問1 5年間で2,876枚の住基カード発行についてどう考えているか。利用できるものは以前に比べ増加しているのか。導入経費と比較しての効果は。図書館貸出等に利用することはできないか。

答弁1 この一年間で、1,400枚の発行となっており、原因としては国税納税システムの影響がある。加えて、住民票の写し等交付の際に本人確認のための書類のひとつとして利用されている。効果に

ついては数値としては把握していないが、あると考えている。今後のカード利用については検討したい。

質問2 鈴鹿商工会議所の緊急アンケートにもあるように、経営への影響があると答えた9割の事業所が大変であるという経済状況下で鈴鹿市としては緊急に手を打つべきではないのか。

答弁2 現在のような大規模な経済危機に対しては、国・県・市がそれぞれ役割分担をし対応していきたい。緊急支援策については、今後調査の結果を踏まえ、鈴鹿商工会議所と連携した相談業務を実施したい。

質問3 災害要援護者台帳作成に向けた取組は。

答弁3 災害要援護者台帳に記載する事に同意した方のみを登録し、写しを市民センターに保管し、災害時に活用したい。



無所属クラブ 板倉 操 議員



1 市民の暮らしに寄り添う施策の重要性について

- (1) 次期総合計画の素案内容について
- (2) 療育センターへの専門職の配置

質問1(1) 第5次総合計画は、市民と行政の協働が今後の市政運営の要だとされ、市民と行政が意見をぶつけ合いながら作り上げた。しかし次期計画は行政のみで素案が作られ、過去3年間の評価も行政のみの自己評価である。前の計画と比べると市民と共に進むと言う視点が欠け、また暮らしの実態に即さない施策も見られる。更に統一性に欠け指導部がどこにあるのか解らない。市民との協働から大きくはずれた結果であると思うがどう考えるか。

答弁1(1) 市民参画で作りに上げた基本構想から大きく逸脱しているわけではなく、パブリックコメントや意見交換会もしているの行政だけでしているとは思っていない。統一性の件については、各部が責任を持つという方針なので、まとめる所はない。

質問1(2) 改修され規模も拡大する療育センターだが、機能回復や訓練という子どもの育ちを将来にわたって保障するための専門スタッフの配置が不十分である。言語訓練士や理学療法士等を正規で常勤職員として配置することが不可欠と考えるがどうか。

答弁1(2) 専門職員の配置の重要性は充分理解しているが実現には時間がかかる。正規で常勤が望ましいが社会福祉協議会とも相談していく必要がある。

緑風会 数田 啓介 議員



1 医療体制と健康づくりについて

- (1) 一次救急と二次救急について
- (2) 高齢者、小児の医療と健康づくりについて

質問1(1) 当市の応急診療所と告示病院による一次救急と輪番制の二次救急の現状と対策はどうか。また、一次救急の体制充実はどうか。

答弁1(1) 一次救急体制では鈴鹿市応急診療所および市内告示病院と医師会等の協力で救急医療体制を確保している。二次救急は鈴鹿中央総合病院と鈴鹿回生病院の輪番制をお願いしているが、厳しい状況にある。本年7月から「鈴鹿市救急医療体制づくり推進プロジェクト」を創設し多方面から本市の救急医療体制

維持の方策を緊急に検討し、二次救急体制の充実のための財政支援をしている。救急医療体制の維持には市民への啓発活動が重要であると考え「かかりつけ医を持ちましょう」「救急医療がピンチです」等のチラシを作成し、啓発を行っている。

質問1(2) 高齢者、小児の医療と健康づくりは。

答弁1(2) 高齢者には保健・医療・福祉サービスを切れ目なく提供できる体制の整備が重要であり「高齢者福祉計画」により長期的に整備をはかっている。小児医療については保護者への取り組みが重要と考え「家庭看護について」の指導体制の整備、保育所、PTAへ健康づくり課職員が出向き啓発活動をおこなっている。今後も市単独事業の各種がん検診、健康教育、健康相談などを拡大推進していく。

あくていぶ21 伊藤 健司 議員



1 障がい児支援について

- (1) 就学前の支援策について
- (2) 学齢期の支援策について
- (3) 子どものライフステージを通じた相談支援の方策について
- (4) 家族支援の方策について

質問1(1) 障がい児の専門的訓練はどこが担うか。

答弁1(1) 療育センターが中心的な役割を担っていくものであり、現在、専門職は嘱託として言語聴覚士を常勤で1名配置しており、今後、専門職員の常勤化を前提に検討を進めていく。

質問1(2) 特別支援学級の子どもの個別の教育支援計画の作成と活用はきちんとできているのか。

答弁1(2) 個別の教育支援計画案を校内委員会に提案し、学校全体で支援できるよう努めていく。

質問1(3) 障がい児の一貫性のある専門機関が連携したワンストップ相談支援体制は作れるのか。

答弁1(3) 今後、家庭児童相談室を窓口として、保健福祉部、教育委員会、幼稚園、学校等関係機関と更なる連携、職員体制等の強化を図る。

質問1(4) 家族支援の方策としての日中一時支援事業の現状と推進方法について。

答弁1(4) 現在、市内9事業所を含め全部で19の事業所と委託契約を結んでいる。更なる利用促進のため、報酬単価を本年12月から1.5倍の引き上げを行い、介護保険事業所にも個別に協力依頼をしているところである。

日本共産党 石田 秀三 議員



- 1 生活保護行政について
- 2 三重県事業への市負担について

質問1 今回の生活保護費詐欺事件で逮捕された2人に対して、生活支援課は法外な金額のタクシー料金の不正チェックを出来ず、支払を続けていた。なぜ詐欺行為を止められなかったのか。また今年4月からの見直しで、医療機関の利用制限が行われた。事件の反動で、要保護者に不利なことが起こっていないか。



答弁1 厚生労働省の監査で、支給認定に必要な書類の不備などが指摘された。早急に外部専門家による「第三者委員会」を設置し、原因を徹底究明していく。また、支給基準の見直しは法令に基づき進めている。

質問2 上水道への長良川導水の受水量は日量2,200トンと、当初の13,000トンから大きく減ったが、料金負担は安くなるのか。また、亀山のシャープへの給水工事の増額分は負担増にならないか。

答弁2 料金負担は当初より大きく下がる予定である。また鈴鹿市は、受水する2,200トンに対する料金だけを負担し、それ以外の負担はないと考える。

日本共産党 森川ヤスエ議員



- 1 温かい中学校給食か、冷たい弁当か
- 2 非正規職員の待遇改善について

質問1(1) 中学校給食を検討する際の基本的な考え方はどうか。

答弁1(1) 温かいものは温かく、おいしいものはおいしく食べるということは食生活の上で大事なことである。現在安全でおいしい給食を提供できるよう検討委員会で幅広く検討していただいている。

質問1(2) 中学校給食検討委員会のすすめ方は改



善されたか。幅広い方向での検討のためにも自校調理方式やセンター調理方式の検討の有無などについてはどうか。

答弁1(2) 回数を4回増やし、デリバリー方式だけでなくセンター調理方式や、自校調理方式などの視察も取り入れて幅広く検討をしていただいている。

質問2(1) 消費生活センター職員の正規雇用を行うなど専門的職に見合う処遇を行うべきではないか。

答弁2(1) 広域連合から相談があれば十分協議したい。

質問2(2) 常勤と同一労働の非常勤職員を正規職員化するため、転換試験などの取り入れや、同一労働の場合の賃金の対等化など処遇の改善を。

答弁2(2) 資格、免許など専門性、人材確保の難易度などで7段階あるが、今後、保育士のクラス担任など職責に応じた加算など先進地の調査などをして検討する。

緑風会 彦坂 公之 議員



- 1 職員の時間外勤務について問う
- 2 不当要求・行政対象暴力について問う
- 3 職員の職務中事故について問う

質問1 月100時間を超える時間外勤務が数ヶ月続いている部署がある事は異常である。改善するためには増員しかないのでは。具体的な方策を問う。

答弁1 解消策の具体的な方策としては、年度途中である事から他部からの人事異動は難しく、所属グループや、他グループの業務量を見直し調整する。又臨時職員増により正規職員の負担を減らしたい。来年度以降も業務量を把握し、適正な人員配置をする。

質問2 様変わりしていく不当要求に対して、どの様に対策を講じるか。

答弁2 担当者を孤立させる事なく、組織として適切に処理していきたい。

質問3 議会ごとに専決処分により、自動車事故の報告がある。交通事故発生後の再発防止策の現状とKYT（危険予知トレーニング）活動を導入する考えはないのか。



答弁3 H17年度から、過失の大きな事故を起こした職員を鈴鹿サーキット交通教育センターへ派遣し、研修を受講させている。KYT活動の姿勢は業務を遂行する上で有効であると考えている。今後はより職場内でコミュニケーションを図り、情報共有し事故防止に努めたい。

無所属クラブ 杉本 信之 議員



- 1 組織の改善について
- 2 子育て施策について
- 3 ふるさと納税について

質問1 ※1ホウレンソウや問題事例等に対する提言・改善のシステムはあるか。不正などに対する告発がしやすい環境になっているか。第三者の弁護士や公認会計士などに相談できる事も必要と思うがどうか。 ※1 報告・連絡・相談の意

答弁1 コミュニケーション能力の向上の為にコーチングなどの研修もしている。又、職員を孤立させないようにもしている。問題があれば労働組合や公平委員会で相談できるようにもなっている。外部での相談のシステムは今後研究して行く。

質問2 これからは子どもの視点での育ちや自立を考

える「子育て支援」が必要である。又、子どもの権利条例の制定についてはどうか。子どもに関する審議会や委員会に、当事者である子どもの参加が必要だと思うがどうか。

答弁2 次世代育成支援行動計画の策定において、中学生や高校生のアンケートも取り入れている。放課後児童クラブや保育所での活動は子どもの意見を取り入れて、子どもの「育ち」を支援している。

又、子どもを「権利を行使する主体」と捉え、条例制定については、県や各市の状況も踏まえ検討していく。

質問3 現在の状況と今後の展開はどうか。

答弁3 7件の寄付がある。鈴鹿のイメージにあった3つの事業への寄付だが、寄付者の意向に沿った事業にも使用できる。各種イベントでPRする。

市政研究会 市川 哲夫 議員



- 1 FM局の開局による鈴鹿市の関与
- 2 災害時に於ける市の対応
- 3 鈴鹿市の都市像について

質問1(1) コミュニティFM局で市の関与は主に災害情報の発信媒体として活用が見込まれているようだがどのように行っていくのか。又、地元の住民に対しどのような啓発活動や支援を行っていくのか。

答弁1(1) 今後、FM局と防災協定を締結し、緊急放送の体制づくりを行う。現在、コミュニティFMを活用した新しいシステムの計画づくりに取り組んでいる。市民



KIZUNAネット鈴鹿FM

には複数のメディアを組合せ、迅速かつ的確に災害の未然防止や被害軽減化の情報を発信する。

質問1(2) コミュニティFM局の今後の対応取組は。

答弁1(2) 重要なメディアと位置づけ防災啓発・消費者情報また外国人住民の為の外国語によるお知らせ等々日常的な情報の提供を行っていく。

質問2 災害時における地元の支援体制はどうか。

答弁2 被害の軽減化を図るうえで自治会単位での自主防災隊の組織化等による防災体制づくりに取り組む。

質問3 都市マスタープランにおける特に市街化調整区域の今後の開発の在り方についてどう考えているか。

答弁3 地域別構想の中で問題の対応も含め市街化調整区域の在り方について制度も含め県と共に検討を進めていきたい。

すずか倶楽部 原田 勝二 議員



- 1 観光圏整備構想について・観光圏整備法施行に対し、鈴鹿市の取り組み姿勢などを尋ねる

質問1(1) 観光圏整備法とは何か。

質問1(2) 同法に対する鈴鹿市の認識は。

質問1(3) 今後の取り組み姿勢、具体策について。

答弁1 通称観光圏整備法は、観光地が広域的に連携して、観光客が2泊以上滞在できるエリアを目指すことに加え、国際競争力の高い観光地とする事で地域の活性化などを促進させる事を目的とする法である。この法に対しての市の認識としては、モータースポーツや千代崎・鼓ヶ浦海水浴場、石薬師宿や大黒屋光太夫などの様々な観光資源を有している。しかし、本市の観光

資源だけでは2泊以上の滞在に対応は難しく、他市町と連携しながら整備計画を作成していくことが必要と考える。観光圏整備に取り組んでいくには、交通・宿泊といった観光関連産業に加え、農林漁業等も含め地域の幅広い業種間での連携や協力体制も必要になることから、民間や関係団体を構成メンバーとした協議会を新たに設立していくことも重要であると考えている。今後様々な事を視野に入れながら、前向きに検討し、整備の取り組みについて北勢地域の市町で構成する北伊勢広域観光推進協議会に提案していきたい。



千代崎海水浴場

公明党 森しず子 議員



- 1 女性の健康トータルプランの重要性
- 2 地上デジタル放送について
 - (1) 公的機関の現状と対策は
 - (2) 高齢者・障がい者への対応は
 - (3) 悪質商法への対策は

質問1 男女共同参画の基本計画への位置付けは。心と体の健康づくり支援において、トータル的な女性の健康についての観点から子宮頸がんや乳がんなど女性特有のがんに対するの支援が重要である。

答弁1 本市では、男女共同参画プランの5つの基本課題のうちの一つである「心と体の健康づくり支援」として様々な施策を実施している。医療機関との連携を

更に図り、自己検診の大切さも併せて啓発していきたい。

質問2(1) 地上デジタル放送移行を平成23年度に控え、学校や保育所等の現状や対応は。

答弁2(1) 市営住宅における共同受信施設については既にデジタル化改修済みであり、その他の施設については目標年次に向け、移行完了できるよう進めたい。

質問2(2) 高齢者等に対する配慮が必要では。

答弁2(2) 要介護世帯や高齢者のみの世帯等については、現状は市の役割が定められていない。定められ次第確実に対応してまいりたい。

質問2(3) 高齢者等が詐欺被害に遭わないか。

答弁2(3) 消費生活センターで広報を実施しており、出前講座も活用する。

市政研究会 森 義明 議員



- 1 川岸市長の市政運営とその成果

質問1(1) 6年間の市政運営をどのように評価しているのか。

答弁1(1) すべての面において、十分満足していただけるほど市民の負託に応えられていない。残された期間に着実に進展させたい。

質問1(2) 執行部の態勢が機能しているか疑問である。色々な問題が発生している原因はどこか。

答弁1(2) H17年度から実施している枠予算方式で部長に裁量を与え、選択と集中の下、事業費を割り振っ

ている。今後もこの方針を充実したい。

質問1(3) 事業が各部署で停滞している。3役・職員が意識改革をすべきではないのか。

答弁1(3) 迅速で着実な事業推進に向け、私(市長)を始め職員すべてが全力で取り組んでいきたい。

質問1(4) 執行部と議会の意思疎通ができていない。行政の考えや行動が伝わってこないのはなぜ。

答弁1(4) 指摘された事項については、真摯に受け止めたい。

質問1(5) 残り任期2年の市政で、市長の考えや重点目標は。

答弁1(5) 厳しい財政事情の中、自らのリーダーシップを発揮し、着実に政策を進展させ、市民の負託に応えたい。

議会の動き(議長・副議長の公務等)

10月.....

- 1日 地震防災特別委員会・議会改革特別委員会
- 2日 三重県後期高齢者医療広域連合に係る現金出納検査(議長)
- 3日 鈴鹿亀山地区広域連合議会臨時会(関係議員)
鈴鹿市文化振興事業団理事会(副議長)
- 6日 建設水道委員会
- 7日 三酒鈴鹿農業共済事務組合議会定例会(関係議員)
- 9日 北勢公設地方卸売市場組合議会議員協議会(関係議員)
- 11日 鈴鹿パルーンフェスティバル2008開会セレモニー(議長)
第22回ふれあい広場鈴鹿(議長、議員)
- 14日 各派
- 16日 総務委員会
- 17日 文教福祉委員会・広報
- 21日 第58回北勢5市議会懇話会(正副議長)
- 23日~24日 第70回全国都市問題会議(議長、議員)
- 25日 鈴鹿市内特別支援学級連合運動会(副議長、議員)
伊勢型紙産地協議会設立総会(副議長)
- 26日 第9回鈴鹿市障がい者ふれあい運動会(副議長)
- 29日 北勢公設地方卸売市場組合議会定例会(関係議員)
三重県後期高齢者医療広域連合に係る現金出納検査(議長)

略称/各種会議名	各派/各派代表者会議	政調/政務調査費経理責任者会議
議運/議会運営委員会	全協/全員協議会	広報/議会広報広聴委員会

- 30日 神戸中学校校舎棟移転改築工事安全祈願祭(議長、文教福祉委員長、関係議員)
- 30日~31日 議会改革特別委員会行政視察(山口県周南市、大分県大分市)

11月.....

- 2日 第16回鈴鹿市民剣道大会(議長)
第41回鈴鹿市美術展表彰式(議長)
- 3日 石垣池公園陸上競技場改修記念イベント(議長、議員)
- 4日 生活産業委員会
- 7日 各派
- 8日 すずか教育フォーラム2008(議員)
- 10日~11日 地震防災特別委員会行政視察(宮城県登米市、仙台市)
- 12日~13日 議会運営委員会行政視察(福岡県北九州市、広島県三原市)
- 14日 全協・政調・議会改革特別委員会
伊藤智也選手金メダル・厚生労働大臣表彰賀会(正副議長、議員)
- 15日 安全・安心フェスタすずか開会式(議長)
交通安全図画・ポスター表彰式(議長)
防火ポスター表彰式(議長)
- 16日 わが町加佐登まちづくりイベント及び第28回農芸祭(議長)
- 18日 議運
- 20日 第31回鈴鹿市社会福祉大会(正副議長、文教福祉委員長、議員)

- 21日 商工優良従業員表彰式(議長)
三重県後期高齢者医療広域連合議会定例会(議長)
- 25日 本会議・議運・各派
- 26日 地震防災特別委員会・広報
- 27日 三重県後期高齢者医療広域連合に係る現金出納検査(議長)

- 11日 総務委員会/予算決算委員会分科会・生活産業委員会/
予算決算委員会分科会
大谷芳照が訳したスノーピーの世界展開場式(議長)
第12回女子アジア選手権大会(2009世界選手権予選ハンドボール)
出場報告(議長)
- 16日 予算決算委員会・各派・総務委員会
- 17日 第22回全国都道府県対抗中学バレーボール大会出場に伴う
市長表敬訪問(議長)
- 18日 議運・各派
- 19日 本会議・政調
- 22日 三重県後期高齢者医療広域連合に係る現金出納検査(議長)
- 25日 広報・鈴鹿市水田農業推進協議会総会(議長)

12月.....

- 2日~4日 本会議
- 5日 本会議・議運・各派
- 8日 本会議・予算決算委員会
- 9日 文教福祉委員会/予算決算委員会分科会・建設水道委員会/
予算決算委員会分科会

議決一覧表 (12月定例会)

議案番号	件名	議決内容	
議案第 74号	平成20年度鈴鹿市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議案第 75号	平成20年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議案第 76号	平成20年度鈴鹿市老人保健特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議案第 77号	平成20年度鈴鹿市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議案第 78号	鈴鹿市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 79号	鈴鹿市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 80号	鈴鹿市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 81号	工事請負契約について(鈴鹿市立神戸中学校屋内運動場棟移転改築工事)	原案可決	全会一致
議案第 82号	鈴鹿市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議員発議案 第12号	地域医療・介護の充実を求める意見書	原案可決	全会一致

選挙管理委員・補充員選挙

12月19日の本会議において、鈴鹿市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙をおこなった結果、次の方が当選されました。任期は、平成21年1月12日から4年間です。

選挙管理委員

内田 等 鈴鹿ハイツ9番5号 清水 修 神戸八丁目11番22号
中井 佳代子 岸岡町4番地の1 高田 義幸 西条二丁目12番5号

補充員

川合 輝尚 八野町545号 川北 五鈴 西庄内町3567番地
出岡 昌子 寺家三丁目24番20号 武野 和美 竹野二丁目7番5号

市民のみなさんの ご意見をお寄せください!

議会だよりに対するあなたのご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。お寄せいただいたご意見は、今後の議会だよりの発行の参考にさせていただきます。

〒513-8701

鈴鹿市神戸一丁目18番18号

鈴鹿市議会事務局

TEL 059-382-7600 FAX 059-382-4876

メール giji@city.suzuka.lg.jp

3月の会議日程.....

2月	13日(金)	10:00 全員協議会 13:00 議会運営委員会	3月	12日(木)	10:00 常任委員会〔文教福祉・建設水道分科会〕
	20日(金)	10:00 本会議(開会)(本会議終了後 議会運営委員会)		13日(金)	10:00 常任委員会〔総務・生活産業分科会〕
	27日(金)	10:00 本会議(代表質問)		16日(月)	10:00 常任委員会〔総務・生活産業分科会〕
3月	2日~5日(月~木)	10:00 本会議(一般質問)(5日本会議終了後 議会運営委員会)		18日(水)	10:00 予算決算委員会
	9日(月)	10:00 本会議(質疑)(本会議終了後 予算決算委員会)		23日(月)	10:00 議会運営委員会
	11日(水)	10:00 常任委員会〔文教福祉・建設水道分科会〕		24日(火)	10:00 本会議(閉会)(本会議終了後 全員協議会)

※日程は変更される場合があります。

会議録のお知らせ

一般質問や議案質疑など本会議の詳しい内容については、会議録が閲覧できますのでご覧ください。12月定例会の会議録は、3月中旬に市立図書館及び各地区市民センターなどに配布予定です。また、鈴鹿市議会ホームページに、会議録検索システムを掲載していますのでご覧ください。

傍聴のご案内

本会議や常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会及び全員協議会は傍聴できます。日程は市役所の掲示板と市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局へご確認ください。電話 382-7600

テレビ中継のお知らせ

本会議の代表・一般質問を、CNS テレビ(アナログ20ch・デジタル702ch)で生放送します。放送時間は、午前10時(開会時間)から会議の終了までです。ぜひご覧ください。